

収益事業特別会計 国民宿舎特別会計
別会計の繰り上げ充用への留意を提言。新庁舎建設については、議会に対して報告のないまま、あたかも建設が決定したかのように、執行部の姿勢を批判。また職員の定員適正化では、これまでの職員数2700人という目標がありながら、突然の2860人への増員という、極めて危機感のない条例議案について、矛盾を厳しく追及した。その他、観光振興では龍馬脱藩150年に当たり、龍馬暗殺までの5年

想定していないこと、消防署所の再編成にスピード感を持つて取り組むことなどの答弁を得た。個人質問に登壇の平田文彦議員は、南海地震対策について、浦戸湾口防潮堤の整備状況をただすとともに津波避難タワーの早期設置を求めた。また、学校と地域の連携拡大、学校の安全対策向上のための録画機能付き監視カメラ設置を強く要望した。次いで登壇した清水おさむ議員は、新たに地域主権戦略会議のメンバーになった市長の基本

に達し、中でも就労可能な方を含むその他世帯が3年間で倍増全体の2割になっている状況の打開に向け、職業訓練と雇用保険の充実を挙げた。南海地震対応については、年度途中であつても補正予算で対応すると答弁
門田権四郎議員の質問に、教育のプロ集団としての学校組織の力量向上、保護者等の支援的教育力の向上により、小学校は全国トップクラス、中学校は全国平均を取り組むと答弁

くすためには生活保護制度のノンフレットを公共施設で配布すると答弁。子どもの医療費無料化拡大や医療費の窓口負担軽減を求め、介護保険料では基金活用による値上げ抑制を求めた。

公明黨

近森議員は市の商工課光農林水産政策の無策を委員会で指摘。先進地事例や具体的な手法を指示。市政の積極的な地産外商への取り組みと地元商売人や業者を優先するよう要請しました。近森議員は市民が心から笑つて暮らせる高知市を創ります。

代表質問に氏原嗣志議員、個人質問は、会派所属の全ての議員が登壇！

員が登壇。南海地震対策、公共事業の地元優先発注、職員定数条例、教育委員会組織の再編成新図書館複合施設整備、新エネルギービジョン、生活保護の不正受給など、市政運営に関して幅広く質問。執行部からは、公共工事発注時の企業評価基準を一部変更し、社会的貢献度の配点を増やす方針が示され、医療点をシナジーと位置づけた統合病院への流れは

の旧J.A高知ビルを考えていると答弁。生活排水対策の推進については、住宅新築時には合併浄化槽設置の法的義務があるため、単独浄化槽やくみ取りから合併浄化槽への転換について市独自の支援策も考えていくと表明。地域コミュニティ再構築については、地域内連絡協議会の設立に取り組むと答弁。

情は採択。今後は市長の決断にかかる。児童福祉施設最低基準の条例制定議案では、保育水準を後退させると指摘し修正案を提出。新庁舎建設では、専門家の意見も聞かず進めている点を指摘。中学校給食の拡大では、執行部は耐震化優先や財政難のため実施できないとしたが、昼食の実態アンケートは行うと答えた。貧困などによる孤立化をな

みどりの会

3月定例会を振り返って 会派の意見

会派の意見

個人質問は、戸田二郎議員、上福島明議員、川村貞夫議員、上田貢太郎議員、土居ひさし議員、浜口卓也議員が、代表質問での会派の考え方を広げる形で質問を行つた。

市民クラブ

入学枠設置な
た。

新年度予算には経済対策や子育て支援拡充を求め 修正案を提出

山根堂宏議員は代表質問において、岡崎市政三期目の初年度となる平成24年度当初予算編成を基に、市長の政治姿勢、定員適正化と機構改革、防災関連対策、上下水道の両事業統合など

